

## 「横浜市輸出梱包事業協同組合」取材しました！



### ● 横浜市輸出梱包事業協同組合とは？

横浜港大黒ふ頭にある「横浜ふ頭梱包センター」は、「横浜市輸出梱包事業協同組合」の施設です。同組合は、株式会社カンザキ、株式会社オーパックサービス、株式会社辰巳商会の三社からなっており、輸出品の梱包から船積みまでを代行しています。

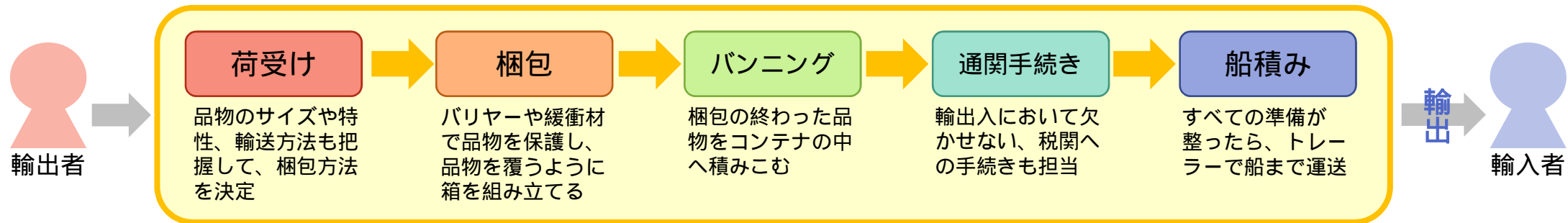
具体的にどんなお仕事をされているのか、取材してきました。



「横浜ふ頭梱包センター」

### ● 輸出梱包の流れ

組合として連携することで、荷物の受け取りから梱包、コンテナへの積みこみ、そして船への運搬までをカバー！輸出までの作業をスムーズに行うことができ、コストも削減できます。



### ● どんな品物を梱包するの？

おもな取り扱い品は、工作・産業機械類、発電や石油用のポンプ等、荷主自身では梱包するのが難しいような闊大貨物（かつだいかもつ）が多いそうです。特に機械類はデリケートで、湿度の影響を受けやすく、また輸送中の衝撃で壊れてしまう可能性もあります。

万が一、輸送中に事故が起こると、荷主や配送先の予定が狂ってしまったり、船が予定通り出港できずに滞船料が発生したりと、大きな影響が生じてしまいます。

そのため、品物の特性や現地での輸送方法も考慮に入れて、しっかりと梱包することが重要です。

## ● いざ、現場ウォッチャー！

荷受けした品物に応じて、「製函指示書」という箱の設計図を作成し、工場で作業に入ります。梱包資材は木材だけでなく、スチールや強化段ボールを使うこともあるそうです。

品物をカバーして内装を整え、パーツごとに作成した箱を組み立てて、梱包を完成させます。

梱包が完了したら、中身がわかるよう、生産地・荷主・輸出先の情報等をマークします。



パーツごとに箱が作られていく



天井にはクレーン(最大30t)が



梱包が終わった状態

こちらの荷物は

**重さ 約11t!**

時には、100t以上の品物を扱うこともあるそうです。

## ● 梱包の技術

品物を安全に輸送するための、様々な技術を見せて頂きました！

### 蒸熱処理炉

梱包に使う木材はすべて蒸熱処理炉で消毒して、虫を駆除します。



### 内装

バリヤーで完全に品物をカバー。中にシリカゲルを入れて、徹底的に湿度を抑えます。



バリヤー



メタルバリヤー

## ◆ 今回の取材をふり返って・・・

長い航海を経て外国に届ける輸出品の梱包には、細心の注意と高い技術が必要です。現場を目の当たりにして、「港の物流」の奥の深さを実感するとともに、港を利用するユーザーのためにも、使いやすい港湾を整備してゆかなければと、あらためて感じました。取材へのご協力、ありがとうございました！

